

「土砂崩れから身を守るには」

京都府 京都市立桂坂小学校 6年 ^{ながの}長野 ^{けい}京

桂坂の北側、特に小学校、中学校の山側は土砂崩れの危険があります。インターネットで調べたところ、この辺りは危険な場所指定されていることが分かりました。そこで、土砂崩れから身を守る行動を調べました。

土砂崩れから身を守るにはまず、日頃の備えが必要です。たとえば、避難所の確認、避難所までの道順を決めておく、危険な場所を確かめておく、逃げ方を覚える、避難訓練に参加する、などなど日頃の備えが大切だということが分かりました。そして、土砂崩れへの対策として、大雨が降り出したらテレビやインターネット、スマートフォン、アプリなどの「土砂災害警戒情報」に注意するようにしたいと思います。そして、自分の住んでいる地域に警戒レベル4（避難指示）が発令されたら、地域の防災活動をしてきている（大人の）人達と一緒に近くの人達に声をかけ停電や断水などの状況を確認しながら在宅避難や避難所へ誘導などの手伝いが出来たらいいなと思いました。お年寄りや障害のある人、小さな子供達が近所にいるので、警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたぐらいのタイミングでは、そうした人たちは大丈夫だろうかという気持ちを、いつも持っていたいと思いました。

京都府マルチハザード情報提供システムの土砂災害警戒区域の地図や京都市の土砂災害ハザードマップを見てみると私の通う桂坂小学校は体育館の真上、西側の山が赤色で特別警戒区域の急斜面に指定されていることが分かりました。もし私たちが学校にいるときに大雨が降ってきて閉じ込められたとして、山の急斜面が崩れて土砂が流れ込んできたら？大雨で下校できずに体育館に集合避難をしているときに、大量の土砂が流れてきたら？考えただけで、とても怖いことですし、異常気象が増えてきている近い将来には起こることだと思っていなくてはいけないうことだと気づきました。さらに隣の大枝中学校から北側の校庭も土石流の警戒区域に指定されています。そこで私が思う桂坂小学校での防災の心がまえは「桂坂小学校にいる間に大雨が降って家に帰れないようになった場合は、体育館や西側と北側の低い場所は安全な場所ではないので避難してはいけないう。校舎のなるべく高い場所に移動して避難する。」にしておきたいと思います。

私は今、小学校6年生です。もし私が通っているうちに土砂災害が起こりそうな大雨が降り、学校に閉じ込められるようなことが起こったら高学年のお友達と一緒に低学年の子供達に声をかけて、校舎のなるべく高い場所に連れて行ってあげたいと思います。

いつ起こるか分からない。でもいつかきっと来る災害。友達や先生と一緒に考えながら私ができる対策をとっていきたいと思います。